



4/19・22 災害時の安全安心の確保に貢献 ～小型発電発電機の寄贈～

(一社)日本道路建設業協会中部支部から、4月19日(火)に道の駅「桜の郷荘川(写真⑤)」、4月22日(金)に道の駅「飛驒街道なぎさ(写真⑥)」に災害時用小型発電発電機が寄贈されました。今後、道の駅の補完電源として活用され、市民や利用者の安全・安心の確保が図られます。



5/10 登山者の安全を祈願して

登山シーズンの幕開けを告げる播隆祭(北アルプス飛驒側開山祭)が、奥飛驒温泉郷村上の村上神社で行われました。祭では、地元住民による「鶏芸」や獅子舞「へんべどり」が奉納披露されました。

5/15 20年越しの砂防事業が完了

神通川水系砂防事務所が奥飛驒温泉郷の平湯川で進めてきた土砂災害を防ぐ整備事業が完了したことから、奥飛驒総合文化センターで竣工式が行われました。



5/16 飛驒高山 SDGs パートナーシップセンターを設立

SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みを推進するセンターの設立式があり、東海大学副学長の細田衛士さんにセンター長を委嘱し、委員による事例紹介や意見交換などを行いました。

5/20 五色ヶ原の森がオープン

五色ヶ原の森には、緑鮮やかな苔に覆われた無数の岩の間を水が流れ落ちる布引滝など、雄大な自然を満喫できるコースが数多くあります。ぜひお越しください。